

茨高  
茨中

# 春秋

発行  
茨高・茨中 P T A  
代表 紺谷智則  
編集  
茨高・茨中文化広報委員会  
水戸市八幡町16-1  
電話 029(221)4936  
茨高・茨中公式ホームページ  
<http://www.ibaraki-jsh.ed.jp>  
印刷 いばらき印刷(株)



平素より茨城中学校・高等学校のPTA活動にご理解とご支援を頂いておりますすべての皆様に感謝申し上げます。私は今年度のPTA会長として、新入生の皆さんへ入学のお祝いを申し上げます。また、保護者様にもお祝いを申し上げます。

ここ数年で人と人の関わり方が劇的に変わりました。対面にて話をする時はマスク着用がマナーとなり、相手の表情は伺うことが出来ず、人前で笑う機会やコミュニケーションも減りました。コロナ禍にマスク顔で知り合いになった人が、マスクを外した顔を初めて見た時の驚きは皆さんも経験があるでしょう。しかし、五月より以前のような元の生活が推奨され、人と人の関わり方が元に戻るようになりました。それは「笑い」です。「笑い」の大切さを新入生の皆さんに大事にさせていただきたいと思えます。

新たなステージに踏み出した



入学によせて  
PTA会長 紺谷智則

新入生はとでもワクワクしていることでしょう。私たちPTAは、皆さんの学校生活を面白く、充実したものにするために全力でサポートします。茨城中学校・高等学校では新しい仲間との出会いや楽しいイベントがたくさん待っています。勉強が一番大切ですが、「笑い」と楽しさも忘れずに取り入れましょう。学校での日常生活や授業では、面白いことやエピソードがたくさん起こる事でしょう。友達との授業中のふざけ合いやおもしろいボケ、先生とのユーモアあふれるやりとり、おちやめな一面など、「笑い」が生まれる瞬間を大切にしましょう。思わずクスッと笑えるような瞬間が、学校生活を彩ります。また、クラブ活動や体育祭・文化祭などのイベントでは、みんなで「笑い」を創り出すことができます。「笑い」を引き出すアイデアを思いっきり試してみてください。「笑い」はストレスを解消し、心を軽くしてくれる力があります。困ったことや悩みがあっても、一緒に笑って乗り越える事ができるでしょう。「笑い」を通じて、友情や絆が深まるよう、楽しい時間と素晴らしい思い出がいっぱいの学校生活を送ってください！

令和五年度のPTA活動は前年同様の活動で満足する事なく、ユニークなアイデアを出し合い、教師と保護者が情報を共有し、協力して子供たちの教育

環境をより良くするために、皆様と共に学校を盛り上げる活動を目標としています。また、お祭りやイベントの準備に積極的に参加、協力する事でPTAが



世界にひとつだけの花

校長 梶 克治

男性アイドルグループSMA Pが歌った「世界にひとつだけの花」は、発表された二〇〇三年にミリオンセラーを記録、その後さまざまなアーティストによってカバーされ、現在では音楽の教科書にも掲載されるなど時代をこえて愛され続けている楽曲です。この歌が愛される理由は口ずさみやすい美しいメロディーもさることながら、何よりその歌詞にあるでしょう。花屋の店先にならぶ花たちが互いに美しさを争うのではなく、世界にひとつだけの美しさを誇って咲いている、という様子を「No」にならなくてもいい、もともと特別な「One and one」と表現した歌詞が、多くの人の心に共感を生んだのです。

近年、多様性を語る文脈の中で「世界にひとつだけの花」が取り上げられているのを目にすることがあります。学校教育でも、一人ひとりの「個性」を伸ばすことが求められています。しかしそもそもその問題として、個性や多様性はどのように大切なのでしょうか。

十九世紀のアイerlandで、国民の主要な食糧であったジャガイモに疫病が流行し、壊滅的な被害が発生しました。食糧

一大エンターテイメントの要素を取り入れた活動になるよう、皆様と展開して進めて参りましょう。

難により多くの人びとが移民となつてアメリカ大陸に渡り、その労働力がアメリカ合衆国を工業国に発展させたとも言われています。

アイerlandのジャガイモが疫病に耐えられなかった理由は、栽培されていたのが「優秀な単一品種だったから」です。ジャガイモは種芋から増やすことができます。アイerlandでは多くの人口を支えるため、収穫量の多い優れた品種の種芋だけを選んだ国で栽培していました。いったん疫病が発生すると、同じ品種のジャガイモの間で病気がまたたく間に広がり、国中の人びとが飢える事態となつたのです。

自然界の中で多様性は強さを意味します。多様な種類の生命が共存する環境では、病気や災害などのリスクに見舞われてもすべてが破壊されることはありません。ある部分が残っても別の部分が生き残り、再生を果たすからです。

人間の社会も同様です。社会が強く豊かに発展していくためには、多様な意見や価値観をもつ人たちが対話を重ねながら合意を形成し、互いに協力していくことが必要です。社会の多様



性が失われ、人びとがひとつの価値観に集約されていった時、戦争の悲劇がもたらされたことは歴史が証明しています。

異なる個の結びつきが多様性をつくる一方で、多様性はそれぞれの個にも影響を及ぼします。個性という生まれつきの不変なものと考えがちですが、実際には個性は常に変化しています。自信が持てなかった人が、人から信頼されることで自己肯定感を高めたり、無気力だった人が、努力する他人の姿に勇気づけられ、自らも夢を持つようになったりします。個性に変化をもたらすものは、自らとは異なる個性を持つ他者との出会いです。

本校では約一二〇〇名の生徒が、日々ともに学んでいます。一人として同じ顔をした人がいないように、一人ひとり、何が好きで何を大切に思うのかも異なります。その中で、ともに生き、学び、支え合うことで、それぞれの個性は豊かに成長していきます。君という個性が、根を張り葉を伸ばし、自分だけの花を咲かせるためには、多様な個性との出会いが欠かせません。茨城高等学校・中学校がこれからも、多様な他者を認め合い、さまざまな個性が伸びやかに育つ場所であり続けてほしいと願っています。

# 入学によせて



高一学年主任  
長谷部将司

高校一年生の皆さん、入学おめでとうございます。既に三か月以上過ぎた段階で改めてこの言葉を発するのは何かこそばゆいですが、それは既に君たちが十分なほどに茨高生としての姿を見せているからに他なりません。思えば、君たちの中学生時代はまるまる三年間に及ぶコロナ対応に追われ、本人の思いとは全く異なる中学生生活を送らざるを得なかったことでしょう。ですが、その三年間を完走した君たちにはこれから十分に輝ける舞台が待っていますし、今の生き生きとした姿を頼もしく思っています。高校の三年間は自分自身の将来に向けて多様な選択肢を作り上げるための貴重な時期ですので、今後とも何事にも真剣に取り組んでもらいたいものです。



中一学年主任  
及川 純

一四五名の新入生と八名の学年団とともに新中学一年生はスタートしました。入学したばかりの頃は、まだ初々しさが残っていました。あつという間に中学生らしくなってきました。大人へと成長していく速さに驚きを感じていると共に、嬉しさも感じています。中学〜高校の六年間は、身体も心も大きく変化していきます。だから色々な物事に興味を持ち、様々な体験をしながら未知の世界に飛び込んでいき、新たな自分を見つけて欲しいです。そうすることにより強く、より賢く、より優しくなるはずですが、どんな時でも皆さんをずっと応援していきます。共に学び、共に笑い、そして共に困難を乗り越えていきましょう。



## 中学男子バスケットボール部

千勝 大志

中学男子バスケットボール部は三年生六名、二年生六名の計十二名で活動しています。僕たちはチームの短所を分析し、より効果的な練習ができるように取り組んでいます。また、高校生や他校との練習試合をする機会が多くあり、たくさんの技術を学ぶこ

とができます。皆が楽しく練習しながら、より良いチームを作り今まで以上の成績を残せるよう努めています。今後とも応援よろしくお願いします！



## 吹奏楽部

菅原 優空

私達吹奏楽部は中学一年生から高校三年生まで計七十八人で活動しています。式典での演奏やコンサート、文化祭、十二月の定期演奏会など、多くの場で演奏させていただいています。昨年は思うように部活動ができず、結果がでないことが多くありま

したが、アンサンブルでパーカッション、クラリネットパートが全国大会に出場し、良い経験をさせていただきました。今年は高校生、中学生ともに県代表を目指し、練習を頑張っています。



## 部活動の紹介

## 中学女子バスケットボール部

岩間 詩

女子バスケットボール部は、学年問わず部員全員が仲の良い部活です。バスケット経験者が少ないこともあり試合に勝つためにガッツリ活動するわけではないですが、部員は自分の技術を高めるために頑張っている練習をしています。今年

も多かったです。一年生はもう二年生の先輩たちと仲良くなりました。三年生が引退しても、頼れる後輩たちが今より素晴らしいチームにしてくれると思っと思っています。



## 高校野球部

粕谷 隆純

今年の茨城高校野球部は、一人一人の仲がとても良く、全員が野球を楽しんでいるチームです。ただ野球を楽しんでるのではなく、「試合に勝つために何が必要か」を常に考え、やる時にはやるところが特徴です。ウエイトトレーニング

も期間に合わせて回数を変えたり、目的に合った筋肉をつけるようにしています。全員が一つのプレーに関わることをモットーに練習に励んでいます。



## 水泳部

西野 衛

こんにちは。水泳部部长の西野です。僕たち水泳部は男子三十四人、マネージャーを含む女子十二人の計四十六人で活動しています。活動は夏場は週三回、大会前だと週四〜五回、また冬場はプールの管理や大会の都合により陸上でのトレーニングを行って

います。顧問の荻谷先生の熱いご指導のもとで日々の練習に励み、部員全員で一丸となりそれぞれの目標に向かって活動しています。



## 囲碁将棋部

中野 崇大

茨高将棋部は、皆が将棋を楽しむことを第一に活動しています。普段は木曜と土曜の放課後に練習をしています。活動実績としては、五月に茨城県高等学校選権春季大会において団体戦を優勝、六月は高校竜王戦茨城県大会で優勝と四位を勝ち取り、八

月には全国大会にも出場しています。とはいえ初心者歓迎していきたくなく、笑顔の絶えない明るい部活を目指しています。どうか今後とも茨高将棋部をよろしくお願ひします。



### 高三遠足

高三学年主任 秋田 拓郎

高三は東京方面に大学見学に行つてまいりました。二年連続で雨でしたが、三度目の正直で晴れてくれました。A B組が明治大学、C組が早稲田大学、D組が国際基督教大学、E組が筑波大学、F組が東京農工大学、G H組が東京理科大学を見学しました。各大学ともカイダンスや校舎見学を熱心に行つてくださり、高三生にとつて有意義な一日となりました。各クラスとも大



学見学と前後して浅草、お台場、上野周辺のクラス別・別行動も行程に組み込みました。新しいクラス、新しい先生のもとでちよつとだけ心配な気持ちになるこの時期に、クラスメイトと過ごす時間をたくさん取れたことはとても良かったと思います。高三生、順調な滑り出しとなりました。

### 高二遠足

高二遠足担当 須藤 岳志

好天にも恵まれ、初夏を感じるさわやかな風の中に遠足が行われました。数年ぶりの東京遠足、秋の研修旅行の準備も兼ね、全日の東京散策です。

ただ散策も芸がなく、今年は六つの大学の付属博物館の見学を必修と定めます。首都高での事故渋滞にも負けず、生徒たちは一目散に散つて…とおもいきや、銀座線のオレンジの車両にすし詰めの生徒たち、でも、



皆嬉しそうな、興奮気味の顔。チェックポイントに到達すると、「次行きたい、早くチェック!!」との顔で待ち受けられ、それでも教科書に載るような資料が無造作に置かれる、軽いカオスと物量におののく姿。他の見学場所でも教授や院生にかまってもらいと、それぞれにいい時間を過ごしたようです。

### 高一遠足

高一学年主任 長谷部将司

本年度の遠足では、高一生全員が二手に分かれて栃木県の日光東照宮および大谷石資料館を見学しました。当日は天気にも恵まれ、水戸や東京では暑さが際立ちましたが、山麓の日光は涼しく快適、大谷石資料館の坑内に至っては約10℃と

むしろ寒いくらいで、なかなか貴重な経験をさせてもらいました。生徒たち、特に高入生は入学したばかりでまだクラスメイトのこと



もよくわからない状態での出発でしたが、移動中のバスの中も含め、この一日でかなりお互いの親睦を深めることができたのではと思われれます。何かと忙しく、やるべきことが多い高校生活を過ごしていく上での一服の清涼剤として、この一日の経験が今後の糧になることを期待しています。

### 中三遠足

中三学年主任 作山 友孝

中三は浅草・上野方面へ行つてまいりました。浅草周辺の散策からスタートし、この学年として初めてとなる、班別行動を実施しました。天候にも恵まれ(暑いくらい)、浅草寺でおみくじを引いたり(私が引いたのは「凶」。ガーン!)、事前に調べた食事場所にて美味しい昼食を食べ、仲見世でのお土産選びに心がと



きめき、ドキドキとワクワクが混じりあう中、班員の知恵を出し合いながら、皆無事に再集合場所である上野の国立博物館・国立科学博物館に来ることができました。ふと見れば、皆の手にはたくさんのお土産が。新型コロナの影響も弱まり、本来の茨城中学校の遠足が実現しました。友との絆も深まり、笑顔あふれる一日となりました。

### 中二遠足

中二学年主任 佐藤麻希絵

「東日本大震災・原子力災害伝承館」で印象的だったのは、浪江町伝承館語り部の横田さんのお話です。震災後、避難指示を受けた横田さんは、飼犬の「リキ」を、(リードはつけずに置いていくしかなかったとのこと

とでした。二、三日で帰れると思っていたのに、いつ帰れるともわからない生活。そんな中、ペットたちの保護を決心した東京在住のドッグトレーナーの岸



さんのおかげで、「リキ」は無事救助されました。自分の命、家族の命、ペットの命を守る行動を取ってくださうという実感のこもったお話は、生徒の心に響いていた様子でした。「アクアマリンふくしま」は、「潮目の海」を再現した水族館。班ごとに楽しく見学を行うことができました。

### 中一遠足

中一学年主任 及川 純

中学一年生は、豊かな自然が魅力の常陸太田・袋田方面に行きました。快晴の中、一四五名全員が怪我もなく、全行程を予定通りに行うことができました。まずは竜神峡へ。大吊橋の床にあるガラス板の上に立ち、

一〇〇m下の景色を見ながら宙に浮くような感覚を体験したり、遠くに見える阿武隈山系の眺めを堪能したりしました。続いて久慈川沿いのキャンプ場でパーベキューで



す。みんなで協力しながら作った焼肉&焼きそばは、格別に美味しかったはず。そして最後に、日本三名瀑の一つである袋田の滝へ。豪快な滝の流れを感じながら、新緑に囲まれた遊歩道を散策しました。新しい仲間達とも打ち解けたいながら、みんなで楽しく過ごした一日でした。



**総合ランキング**  
**クラス企画総合**  
 1位 3-H  
 2位 3-E  
 3位 3-A



茨祭ポスター画  
3-A 柳 莉子作

**3-A**

3-A代表生徒 叶野 蘭  
 最後の文化祭は人生最高に楽しいイベントだった。高入と一貫がまとまるか不安だったが終わってみればもう関係なくなっていた。たくさん協力してくださった担任の奥村先生には感謝しかない。ありがとうおっくん!!!

**3-B**

3-B代表生徒 萩野谷 万葉  
 コロナと過ごしてきた日々で終止符が打たれ、マスクを外して笑いあえた文化祭。リア充にはなれなかったけれどすごく楽しかったです。こうして文化祭を実施できたこと、執行部や先生方に本当に感謝しています。

**3-C**

3-C代表生徒 佐藤 由宇  
 文化祭を終えて、クラスの誰かが壊れたい、そう思ったら私はその文化祭は成功だと思います。エンディングセレモニーでの吹奏楽部の演奏に対するアンコールが私たちの気持ちをそのまま表していました。終わって欲しい、その思いが溢れたアンコールでした。3年間で最高の思い出です。

**3-D**

3-D代表生徒 中野 ころこ  
 国際教養コースは人数が少なく人手が足りないというハンデを抱えながらの文化祭でしたが、協力して素晴らしいクラス企画を完成させることができました。高校生最後の文化祭を楽しんで終わることができて良かったです。

**3-E**

3-E代表生徒 鈴木 瑛人  
 高校生活最後の文化祭。前年度までと異なり外部からもお客さんを呼ぶことができ、経験したことのない忙しさがありました。とても楽しく過ごすことができました！準備期間を含めた4日間でこれ以上ないほど青春して、クラス一丸となって頑張った企画では賞も取ることができて良かったです！

**3-F**

3-F代表生徒 軍地 響  
 文化祭を終えて僕はやはり文化祭は高校の行事で一番楽しい行事だなと感じました。文化祭期間中は失敗したこと、成功したこと色々なことがありました。その出来事全てが僕の人生のいい思い出になったなと思いました。

**3-G**

3-G代表生徒 海老根 彩希  
 今回の文化祭のために動いてくださった先生方・実行委員の方々ありがとうございました。あまり関わったことがない人も話せて、仲良くなれて、文化祭準備から片付けまでずっと楽しい時間でした。最高の思い出です！

**3-H**

3-H代表生徒 千田 結奈  
 準備期間前から先生と協力しながら各々が設計図や模型、最小限の費用になるような使用物を試行錯誤しました。結果、2冠を達成することができました。各々が力を最大限発揮し、協力し、努力した結果だと思います。

ポスター企画1位  
3-H 徐 輔賢作

**1-A**

**1-B**

**1-C**

**1-D**

**1-E**

**1-F**

**1-G**

**2-A**

**2-B**

**2-C**

**2-D**

**2-E**

**2-F**

**2-G**

文化祭実行委員長  
谷部 淳一  
 2日間で3,000人を超える来場者。活気に満ちた校舎。セレモニーでの吹奏楽部の演奏。コロナで様々な制限を受けてきた子供たちが久々にみせる生き生きとした表情をみて、ほほえましく思い、彼らの中に運しさを感した。

文化祭実行委員長 生徒  
海原 万由香  
 今年の茨祭は大成功でした。約3,000人の方に来校していただき、みなさんの協力のおかげで活気に溢れた茨祭にすることができました。これからの文化祭にできて良かったです。ありがとうございました！

**JRC部**  
 宇野 晴香  
 水戸市知的障害者就労支援施設はげきさんのクッキー販売を行いました。初めての試みのため不安でしたが皆様の協力により全てのクッキーを完売させることが出来ました。この場をお借りして感謝申し上げます。

**囲碁・将棋部**  
 中野 崇大  
 茨高将棋部は前年に引き続き自由対局と詰将棋展示を行いました。部員達の懸命な協力もあり、無事文化祭を盛況のうちに終えることが出来ました。関係の先生方、ご来場になられた方々、本当に有難うございました。

**生物部**  
 晒名 ゆきの  
 部員一人ひとりが大きく成長できた文化祭になったと確信しています。生物部に来てくださった1301人の皆さん、本当にありがとうございました。一緒に頑張ってくれた皆さんにも感謝しています。来年もがんばれ!

**美術部**  
 佐藤 凛  
 美術部では文化祭でアーチ作成と作品展示、プラ板作りのワークショップを行いました。沢山のお客様にお越しいただき、ありがとうございました。

**史学部**  
 佐々木 秀信  
 今年度史学部は、昨年調査した水戸藩の「勤王十郎堀」の一部大洗町の「大貫運河」と黒土地域の中世金山跡をテーマに展示発表を行いました。ご来場して下さった方々、関係者の方々本当にありがとうございました。

**吹奏楽部**  
 菅原 優空  
 私たち、吹奏楽部は開場セレモニー、コンサート、エンディングセレモニーで演奏させていただきましたことができました。沢山の方々から演奏を聞いていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

**コンピューター研究部**  
 綿引 開人  
 C研では例年通りジャンク品のPCを解体&パワーアップ作業、その他PCの展示を行いました。当日は生徒や先生、保護者の方、茨高の卒業生などの多くの人々が訪れました。無事文化祭を終えることができました。本当に良かったです。

**図書委員会**  
 尾竹 祥  
 図書委員会は図書委員から集まったおすの木の展示や有志による朗読を行いました。当日は生徒や先生、保護者の方、茨高の卒業生などの多くの人々が訪れました。無事文化祭を終えることができました。本当に良かったです。

**ESS部**  
 沼田 柚華  
 ESS部では新しく6人の部員を迎えてミュージカルを行いました。脚本の作成から衣装の準備、演技の練習まで何もかも手探りでしたが、当日は沢山の方々から私達の練習の成果を披露し舞台を楽しめることができました。

**化学部**  
 徐 輔賢  
 今回の文化祭で化学部の出陣はスライム作り、炎色反応、発光実験、ダイラタンクンなどをしました。また、入場券が販売されたことで子どもたちが多く化学部を訪れました。一人一人がスライム作りで、楽しく子どもたちと交流することができました。また、子どもたちからたくさんのお言葉をいただきました。ありがとうございました。

**漫画研究部**  
 清水 怜  
 本年度はとてもしっかりと準備していただきました。例年より分厚い読み応えのある部誌となりました。部誌を手取りで頂いた方や部員と寄贈者の皆様、顧問の先生そして執行部の皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。

**放送部**  
 川崎 兼大  
 今年は校内にいるだけでなく中学生や他校の人も沢山来てくださったので去年よりも忙しかったです。部誌を手取りで頂いた方や部員と寄贈者の皆様、顧問の先生そして執行部の皆様にご場をお借りして感謝申し上げます。来年に期待しています。

**フォーク部**  
 堀口 永愛  
 大切な仲間と共に素晴らしい音楽を作り上げる青春の経験は、一生の宝物です。2年間、くせんととムーンとして皆さんに音楽を届けることができて、とても嬉しかったです。メンバーの皆さんには、心から感謝しています!

**競技かるた部**  
 栗田 美晶  
 競技かるた部では百人一首で恋歌を書いた一部の人たちを調べました。その人たちがどんな恋歌を書いたのか、そしてその恋歌に込められた本当の意味とはどのようなものかを展示しました。

# 第54回 茨中体育祭 2023.6.13

生徒会長  
赤津 遼太郎

今年の体育祭は天候に恵まれず、そんな中で縮小規模で開催された今回の体育祭は競技数こそ少ないものの僕たち生徒にとって素晴らしいものとなりました。その裏側で、ぬかるんだグラウンドを整備して下さった先生方には本当に感謝しています。もつといい応援を仕上げようと、全身全霊で取り組んだ三日間と予定外の一日の練習期間での三年の努力は、本番できっと報われていました。どの組の応援も見ていて本当に楽しく、格好いいものでした。体育祭は僕たちの思い出に残る素晴らしいイベントになりました。皆さん本当にありがとうございました。



体育祭実行委員長  
岡部 将也

「執念」今年の体育祭はこの一言につきると思います。生徒、先生方、保護者の皆様の執念が、雨に左右された今年の体育祭を実施することにつながりました。本当にありがとうございました。四色とも見事なものでした。今年一番感動したことは、敵である他色の応援を、拍手をして盛り上げ、皆で体育祭を作り上げた姿です。三年生を中心に本当に感動をもらいました！このパワーを普段の生活にも発揮していこう！

総合順位  
1位 緑組  
2位 赤組  
3位 青組  
4位 黄組



赤組団長  
野村 志颯

過去一番熱い気持ちで沸き立ちました。最後の体育祭で私は二連覇した赤組の団長でみんなを引っ張っていく重責を務めました。そんな中、三年生はお互いが最善策を考え相乗効果で全員のやる気に繋がらせてくれて改めて最高の仲間たちと実感しました。また、一・二年生もわからないことが多いなか積極的に活動して全員が練習熱心で赤組が一つでした。結果は惜しかったですですが涙ではなく全員のやりきった笑顔が脳裏に焼き付いています。もつと赤組や体育祭について熱く語りたいです。今から我々の炎を紡いだ後輩たちが作る体育祭が楽しみです。



黄組団長  
小林 伶瑠

みなさん、こんにちは。黄色組団長を務めさせて頂きました小林伶瑠です。私たちの組は、元気で明るい黄色を象徴しています。この明るさと活気を持ちながら、一丸となって頑張ってきました。今回は三種目しかありませんでしたが、個々の力を発揮しながらも、団結力を大切にしてきたと思います。もちろん、優勝を目指しましたが、それ以上に大切だったのは、チームワークと友情、そして楽しむことです。今回はみんなが全力で楽しめたと思います。黄色組を支えてくれた応援メンバー、先生方、本当にありがとうございました。



青組団長  
赤津 慶太郎

皆さんこんにちは！青組団長の赤津慶太郎です。今年の体育祭は、雨の影響で短縮されたことでしたが無事に終わったことを嬉しく思います。青組の団長として、体育祭に参加した感想をお伝えします。まず第一に、青組のメンバーが一丸となり、みんなが優勝に向かって全力を尽くした姿にとても感動しました。他色同士でも声を掛け合い、互いに助け合う姿勢は、本当に素晴らしいものでした。また、総合順位は三位でしたが、青組の皆が団結し闘い抜く姿は僕にとって一生の宝物となりました。団員のみんながどうございました。



緑組団長  
大谷 明日香

今回の緑組の団長を務めさせて頂いた大谷明日香です。今回は天候にあまり恵まれず、不安が多かったなか、無事に開催することができてとても嬉しく思います。今回は種目数が多く練習の時間が短くなってしまいましたが、緑組のみんなが私達応援団の言うことをすぐ行動に移してくれたおかげで応援練習を次から次へとスムーズに行うことができました。応援団の中でぶつかってきたこともあり、「すべては優勝のため」と言って辛抱強く乗り越えてきました。この体育祭を通して頑張ることの意味をとても良く知れたと思います。緑組の先輩方も優勝したことをすごく喜んでもらえて本当に嬉しかったです。緑組のみんな、先輩方、朝早くからグラウンド整備してくれました先生方にも感謝しています！最高の体育祭がありました！どうございました！！



# 新任教職員の紹介



①好きなこと・もの ②中高生の頃の夢

③生徒達へのメッセージ又は自己紹介



栗原幸太郎 (数学)

①サ活と野球。たまにアニメ見ます。  
②甲子園に行くこと。いまだに夢見ているので教員たちに託します。進路としては教員になることを目標としています。  
③教員として一人の人間としてもまだまだ未熟ものですが、一杯生徒の皆さんと向き合っていきます。これからもよろしくお願いします。



永岩 佳奈 (理科・化学)

①おいしいものを食べることに、好きなバンドのライブに行くこと、古着屋巡り  
②教員  
③化学の実験が面白いという理由だけで化学が好きになりました。実験が好きで、ずっと化学に携わりたいたいと思ひ、化学の教員になりました。生徒の皆さんもぜひ自分の興味があるものを探してみてください。これからよろしくお願ひいたします。



礒部 奨斗 (英語)

①ロック系の音楽が好きで、特にLinkin Parkというグループを毎日聞いています。アニメもたまに見ますが、子供たちの話にはついていけません。  
②特に大きな夢はありませんでしたが、作文の課題等で「将来の夢」などを書く際にはほとんど「学校の先生」と書いています。  
③学校生活を最大限楽しみたいです！



青木健一郎 (英語)

私はこれまで主に人文系の領域で研鑽を積んできましたが、知的探究の端緒にあつたものは中高時代に培われた言語への強い関心でした。言語の学習に困難はつきものですがそれは時に深い喜びや充足感をもたらし、多くの気づきを与えてくれます。皆さんの「気づき」を増やしていけるような授業展開を目指して尽力して参ります。



高橋 篤 (英語)

①音楽鑑賞や漫画、アニメ、ゲームが好きです。食べることも好きなのでおいしい定食屋教えてください。最近は植物園も気になってます。散歩したい。  
②養護教諭を考えていました。保健室で音楽かけながらコーヒー飲むという夢のようなお話。飲むなさい。おいしいものを食べると幸せになりますよ。アーメン。



北郷 恵子 (英語)

①ガーデニングが好きで、いろいろな花を育てています。  
②学生の頃から、教師になることが夢でした。  
③教師になってからは、その時々、自分が新たにチャレンジしたいことを見つけ、挑戦していろいろなことを経験してきました。いつか機会があれば、そんな話も、みなさんにできたらと思っています。



アンジエリク・パウエラス (英語)

①ほとんどのフィリピン人のように私は音楽が大好きで自由時間にはよく音楽を聴いたり、歌を歌ったりします。  
②昔から英語が好きだったので、子供の頃は作家か放送局になりたいと思っていました。  
③外国語を学ぶのは難しいことですが、私は日本語を上達させるために最善を尽くしています。同じように、英語も上達するように頑張ってください。



井野崎 基 (数学)

①時々数学の問題を考えること。  
②特に何も考えてなかった。  
③数学のテキストは、普通の読書のように読んだだけではなかなか理解できないことが多いものです。いつも紙と筆記用具をわきにおいて繰り返し書き写してみてください。計算の飛んでいる箇所は補いながら何回も書き写すのです。そうすると徐々に理解できるようになりますよ。



中島 樹 (数学)

①バドミントンです。競技としての奥深さが好きです。  
②中学生の頃は特にありませんでしたが、高校生になってからは担任の影響もあり教師を志すようになりました。  
③些細なことでも興味があることには、チャレンジしてみてください。そこから得られた知見が皆さんの成長に繋がってきます。



清水 敬祐 (英語)

①懐かしい曲を聴くこと  
②英語教師  
③ Do what you love and success will come. 「好き」が物の上手なれ」という意味です。好きな科目なら興味湧き、必然と得意科目になると思います！皆さんが英語が好きになるお手伝いが出来ればと思います。 Let's enjoy English!

## 小笠原研修について

高校三年E組 井上 結椰

今回のように、その地域の動植物の観察を目的に研修に行くことは、初めてでした。小笠原ではアカガシラカラスバトを筆頭に様々な固有種を見ましたが、外来種も多くいて、観光と自然の保護の両立の難しさを知りました。それでも、この島の貴重な自然を守るために、島の人達は、自然の調査と保護と共に、教育活動や啓蒙活動にも取り組んでいました。私達も、日頃から自然への思いやりを持ち、島の人達が鳥を語るように、自然の大切さについて伝えていくことが大事だと考えます。美しい自然を守るため、まずは自身が、地球に優しい行動を実践したいと思います。



自然豊かな島で、生徒たちは本物に触れ、一生忘れることのない経験を得ることができました。

檜山 俊彦

生態系や環境問題を体験的に学ぶサイエンス研修が、令和五年三月二十七日から四月一日の日程で行われました。研修地は、東京から南に約1000km離れた世界自然遺産の小笠原諸島の父島で、高校生七名、中学生三名が研修に取り組みしました。初日はおがさわら丸での二十四時間の長い船旅です。そして翌日、父島に降り立った生徒たちは、島の美しい海に感激していました。陸域の研修では、亜熱帯のジャングルで固有種のマルハチヤアカガシラカラスバトなどの貴重な動植物を観察しました。海域の研修では、南島への上陸やシュノーケリングでのサンゴ礁の観察、イルカ・ホエールウォッチングを行いました。最終日はアオウミガメの保全について学び、ウミガメの放流も体験しました。